

お知らせ

記者発表資料 | 平成27年11月11日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成27年度 中国地方整備局入札監視委員会 第一部会第2回定例会議の議事概要について

中国地方整備局入札監視委員は第一部会第2回定例会議を平成27年9月28日（月）に開催しました。

会議では平成27年4月1日から平成27年6月30日までの間に発注した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した10件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議がなされました。

議事概要については別紙のとおりです。

<問い合わせ先>

中国地方整備局入札監視委員会事務局

（第一部会）082-221-9231（代表）

主任監査官	あかぎ まもる 赤木 護	（内線2114）
総務部 契約管理官	きのした かずたか 木野下 和孝	（内線2222）
企画部 技術開発調整官	なかがわ てつし 中川 哲志	（内線3120）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官	ひらかわ まさふみ 平川 雅文	（内線2117）
企画部 環境調整官	た お かずなり 田尾 和也	（内線3114）

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会）審議概要

開催日時及び場所	平成27年 9月28日（月） 14時30分～17時00分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 竹下 祐二（大学院教授） 委員 河合 研至（大学院教授） 委員 平野 実（大学教授） 委員 福田 和恵（公認会計士・税理士） 委員 水中 誠三（弁護士）	
審議対象期間	平成27年4月1日 ～ 平成27年6月30日	
抽出案件	総件数 10件	（備考） 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 （WTO 対象）	1件	
一般競争入札方式 （WTO 対象外）	4件	
通常指名競争方式	1件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1件	
通常指名競争入札方式	1件	
簡易公募型ポータル方式	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	説明・回答
	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

抽出事案一覧表

【工事】

○一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事

工事名	工事種別	競争参加資格を確認したものの数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
長門横山道路大塚寺第1トンネル工事	一般土木工事	18	10	平成27年4月30日	戸田建設(株)	4,211,244	89.30	山口河川国道事務所

○一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
揖屋白歩道揖屋電線共同溝第4工事	アスファルト舗装工事	2	2	平成27年5月28日	日発工業(株)	114,480	97.47	松江国道事務所
鳥取管内植樹維持作業	造園工事	3	3	平成27年6月4日	(株)渡辺造園	23,501	88.31	鳥取河川国道事務所
国道9号益田地区防災工事	法面処理工事	2	2	平成27年6月8日	大畑建設(株)	100,440	91.64	浜田河川国道事務所
芦田川河口堰ゲート設備整備工事	機械設備工事	2	2	平成27年6月26日	日立造船(株)	96,120	87.90	福山河川国道事務所

○通常指名競争方式

工事名	工事種別	指名者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
下関合同庁舎耐震建築改修工事	建築工事	74	3	平成27年6月4日	(株)イチケン	411,480	82.41	営繕部

【建設コンサルタント業務等】

○簡易公募型競争入札方式)

業務名	業種区分	参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
倉吉管内資料作成業務	土木関係コンサルタント	8	8	平成27年4月1日	鵬技術コンサルタント(株)	32,184	92.15	倉吉河川国道事務所

○通常指名競争方式

業務名	業種区分	指名者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
温井ダム堤体挙動観測業務	測量	10	9	平成27年4月1日	(株)安芸建設コンサルタント	8,888	89.26	温井ダム管理所

○簡易公募型プロポーザル方式

業務名	業種区分	参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
皆生海岸施設計画検討業務	土木関係コンサルタント	4	1	平成27年6月10日	いであ(株)	21,060	99.85	日野川河川事務所

【役務の提供等及び物品の製造等】

○一般競争入札方式

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
八田原ダム管内電気通信設備保守業務	役務[建物管理等各種保守管理]	2	1	平成27年4月1日	株式会社ケーネス	16,092	61.09	八田原ダム管理所

意見・質問	説明、回答
1. 報告及び審議	
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等への対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 工事種別毎の低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況</p> <p>Q 1. 独占禁止法違反による指名停止で6者に指名停止措置を行っているが、各業者間で指名停止期間が異なっているのはなぜか。</p>	<p>A 1. 本件は独占禁止法違反を要件として指名停止を行ったものだが、今回の違反だけでなく、過去3年における指名停止状況及び過去10年における独占禁止法違反の状況などの悪質性を勘案していることから、各業者間で指名停止期間が異なっている。</p>
(2) 抽出事案審議	
1) 長門俵山道路大寧寺第1トンネル工事	
<p>Q 1. 総合評価の一次審査における審査評価点が0点の者があるが、理由は何か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 一次審査の評価項目である同種工事の施工実績については、国土交通省発注で平成18年度以降に完成した工事をより同種性の高いものと評価しており、国土交通省以外の受注実績については加算されない。</p>
2) 揖屋自歩道揖屋電線共同溝第4工事	
<p>Q 1. 本工事の落札率は97.47%とかなり高い割合となっているが、要因はあるか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本工事は供用中の道路の歩道部分を掘削し、情報BOXを敷設したうえで、再度舗装を行うといった工事であり、関係機関等との調整・協議も多く、業者にとって負担の大きい内容であるため、低価での入札にならなかったものと推測される。</p>
3) 鳥取管内植樹維持作業	
<p>Q 1. 昨年度の受注業者が参加しているが、当該業者の総合評価項目における過去の工事成績が0点なのはなぜか。</p>	<p>A 1. 本工事の工事成績はH24年度及び25年度の成績評定を使用しているため、H26年度の成績については反映されていない。</p>

<p>Q 2. 今回の落札業者と一昨年度の落札業者が同一という事だが、業者間で交互に落札しているなどといった疑いはないのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 2. 本工事の過去5年間における入札参加者・応札金額等の状況を確認したが、隔年で同じ業者が落札するなどの不自然な応札状況はなく、適正に競争が行われたものと認識している。</p>
<p>4) 国道9号益田地区防災工事</p> <p>Q 1. 応札2者のうち、予定価格を超過した者の応札額がかなり高いが、考えられる要因はあるのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本工事は施工箇所が点在しており、技術者を複数配置しなければならないなど、経費がかさみ、現場管理が困難である事などが考えられる。</p>
<p>5) 芦田川河口堰ゲート設備整備工事</p> <p>Q 1. 昨年度も同じ2者が応札しているとの事だが、このような機械設備の整備工事では参加者が限られてしまうものなのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本工事については既存の機械設備の整備を行うものなので、整備工事の受注実績やゲート設備の施工実績があり、当該設備の構造を熟知している者の方が、参加し易いと思われる。</p>
<p>6) 下関合同庁舎耐震建築改修工事</p> <p>Q 1. 最初から指名競争で手続きしたのか。また、74社に対して指名通知を行っているが、ここまで多い理由は。</p> <p>Q 2. 当工事は低入札であったとの事だが、当該落札業者の今回の低入札実績が他の工事参加時にも影響するといった事はあるのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 当初は一般競争で手続きを行ったが、参加者がなく、不調に終わった。耐震工事という安全性に関わる工事であり、早期に発注する必要があるため、契約方式を指名競争に変更した。 また、近年、建築工事は不調不落が多数発生している事から、参加資格を満たす全ての者に指名通知を行ったもの。</p> <p>A 2. 当該業者に対しては、この応札額で当工事の適正な履行が可能であるかの調査を行い、可能と判断したうえで、契約したもののだが、低入札の実績が他工事の入札参加に影響することはない。</p>
<p>7) 倉吉管内資料作成業務</p> <p>Q 1. 業務内容の一部である「協議関係資料作成」とは具体的にはどのような内容か。</p> <p>Q 2. 同様な業務を毎年発注しているとの事だが、業務内容は職員でも行う事が可能なものではないのか。</p> <p>Q 3. 外部委託を行うべきでない業務もあるかと思われるが、その点について見直しや議論はなされているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 他の河川管理者や道路管理者、又は警察等の協議に使用する資料の作成及び図面の加工・修正等を行うものである。</p> <p>A 2. 近年、職員定数が減少してきている状況のなか、効率的な業務執行を図るため、単純作業である資料作成等は外部に委託し、職員は地元説明、現場監督等の主要な業務を行うよう整理して業務発注を行っている。</p> <p>A 3. 限られた人員で効率的に業務を行うため、外部委託は、十分な議論のうえで発注しており、問題はないと認識している。</p>

<p>8) 温井ダム堤体挙動観測業務</p> <p>特に質義なし。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	
<p>9) 皆生海岸施設計画検討業務</p> <p>Q 1. 技術提案の評価の結果、特定されなかった者が自己の技術提案についての詳細な結果を確認する事はできるのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する</p>	<p>A 1. 評価結果については各業者の評価項目毎の配点についても公表しているため、確認する事は可能である。</p>
<p>10) 八田原ダム管内電気通信設備保守業務</p> <p>Q 1. 配置予定技術者が他の業務を兼務する場合に国土交通省発注業務に限り、手持ちの業務量が制限されているが、国以外の業務についても同様に制限する必要があるのではないか。</p> <p>Q 2. 本件では役務で発注されており、落札金額が予定価格に比べかなり低いが、役務に調査基準価格はないのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本業務は、重要なインフラ管理設備である電気通信設備の保守点検を行うものであるが、民間ではインフラとしての電気通信設備の保有数が非常に少なく、地方公共団体では、国に比べ設備の規模が小さく、外部委託の体制も少ないことから、国以外の業務については制約は不要と考えている。</p> <p>A 2. 役務契約も調査基準価格は設定されており、予定価格の6割の金額となっている。</p>

<p>(3) 再苦情処理の報告</p> <p>該当事案なし</p>
<p>平成27年度 入札監視委員会</p> <p>第3回定例会議（第一部会） 平成27年12月18日（金） 14:30～</p> <p>中国地方整備局 建政部 3階会議室</p> <p>抽出委員 河合委員</p>